

# 杉並区立施設再編整備計画（第2期）

## 第1次実施プラン（令和4～6年度）

### ～計画案について～

（高円寺地域説明会用）

令和3年11月3日 杉並区 政策経営部 企画課 施設再編・整備担当

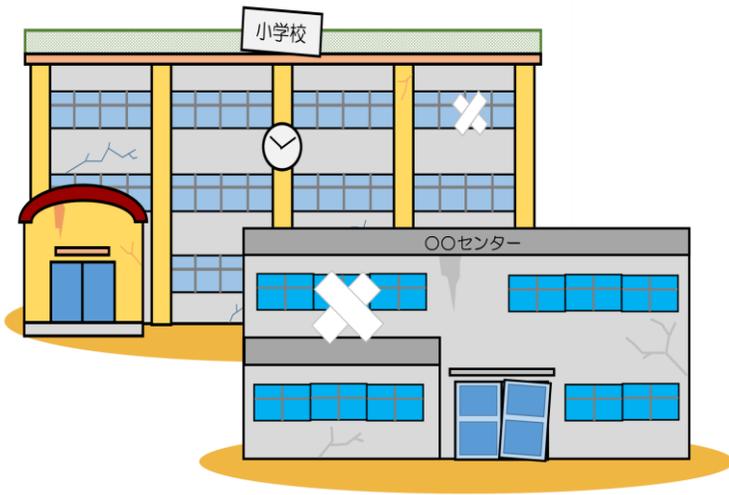
●●● 今日、お話しする内容 ●●●

- 1 どうして再編整備を行うのか
- 2 どのように再編整備を進めていくのか
- 3 高円寺地域における、第1次実施プランの主な取組
- 4 まとめ

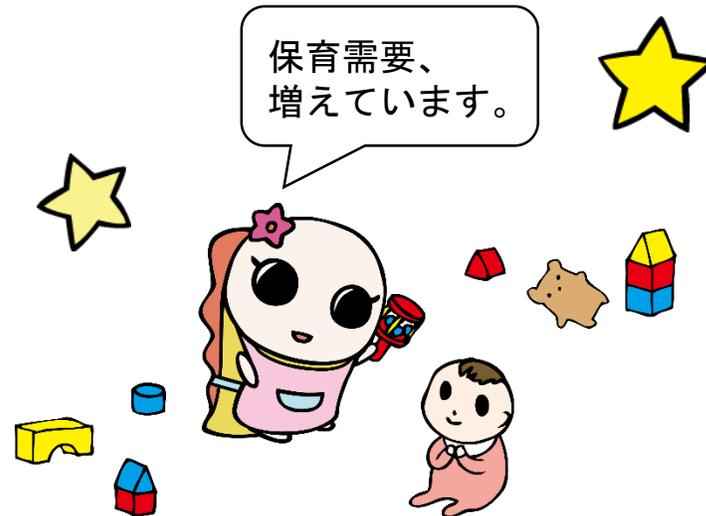
# 1 どうして再編整備を行うのか

⇒区立施設には、「課題」があります。

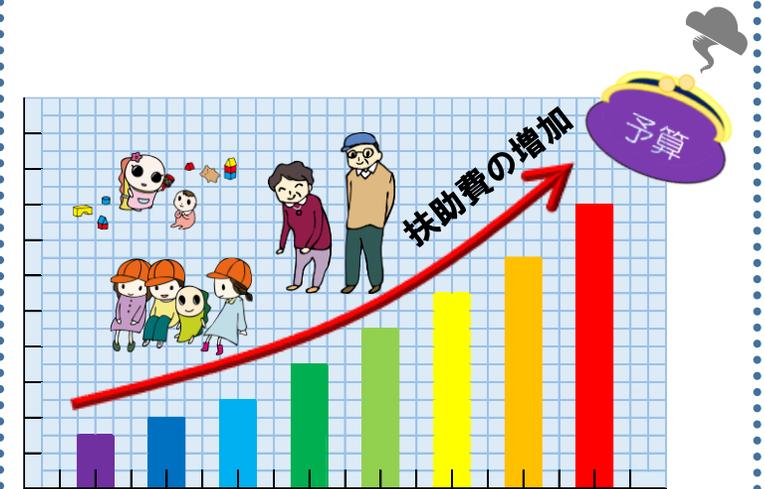
## ①施設の老朽化



## ②区民ニーズの変化

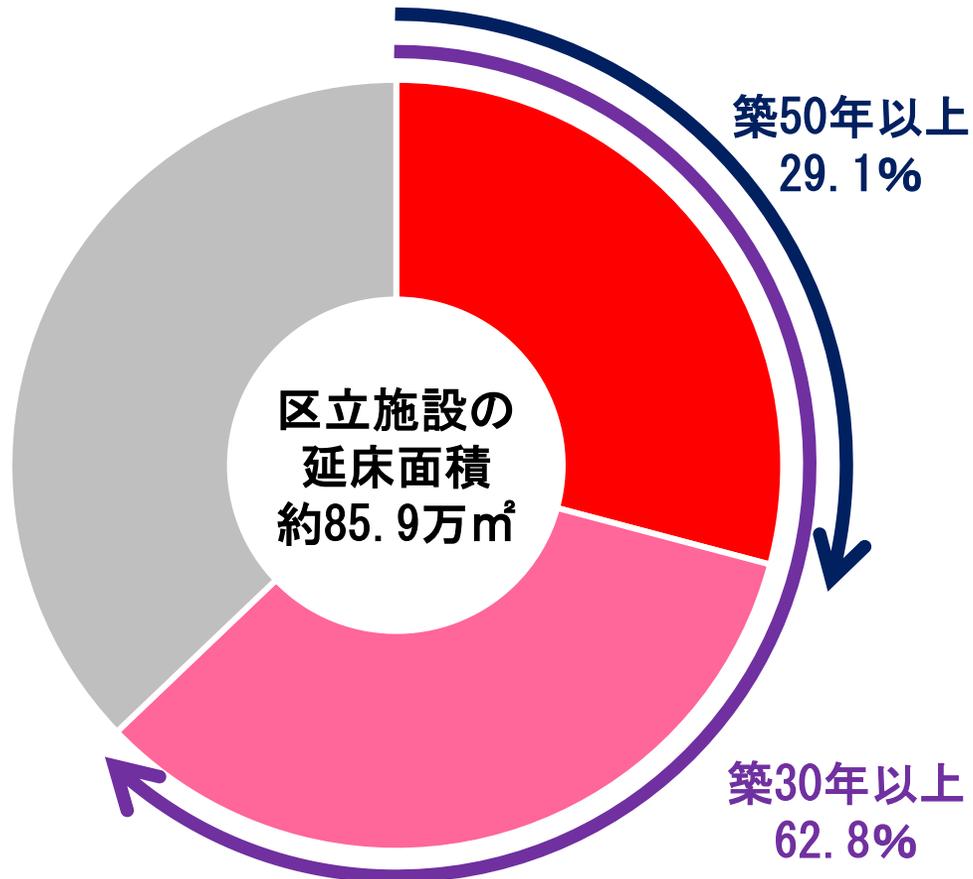


## ③厳しい財政状況



# 区立施設の課題① 施設の老朽化

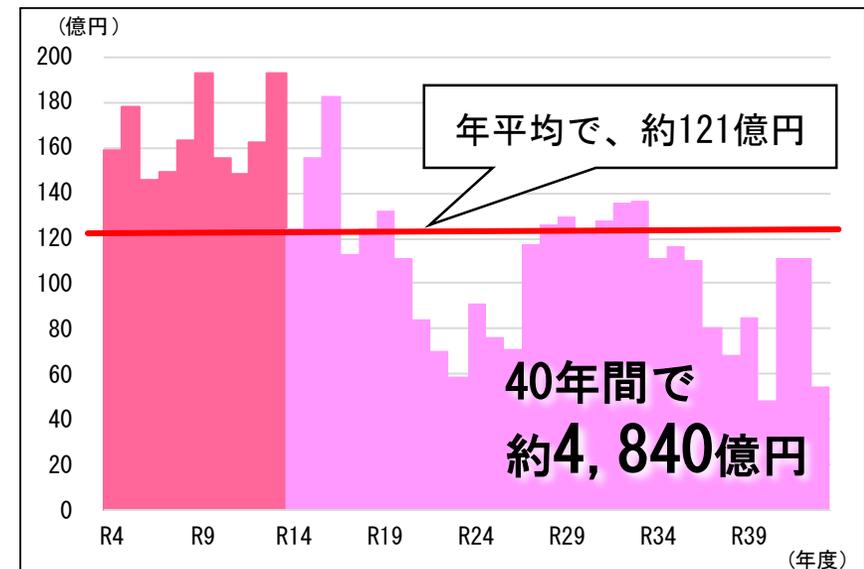
## ■建築年度別の区立施設の整備状況



⇒築30年以上の施設は、全体の約6割。  
築50年以上だと、全体の約3割に上ります。

## ■今後の改築・改修等経費試算

⇒今後、およそ10年間で改築・改修等のピークです。

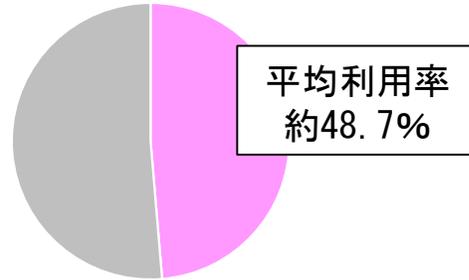


## 区立施設の課題②

## 区民ニーズの変化

### ■より一層の有効活用が求められます

⇒例えば、区民集会所、区民会館、ゆうゆう館の平均利用率は、約5割であるなど、より一層の有効活用が求められます。



### ■施設に求められる機能も変わっています

⇒バリアフリー化や省エネ化への対応のほか、区民のニーズに合わせた施設づくりが求められています。

### ■需要が増えている施設があります

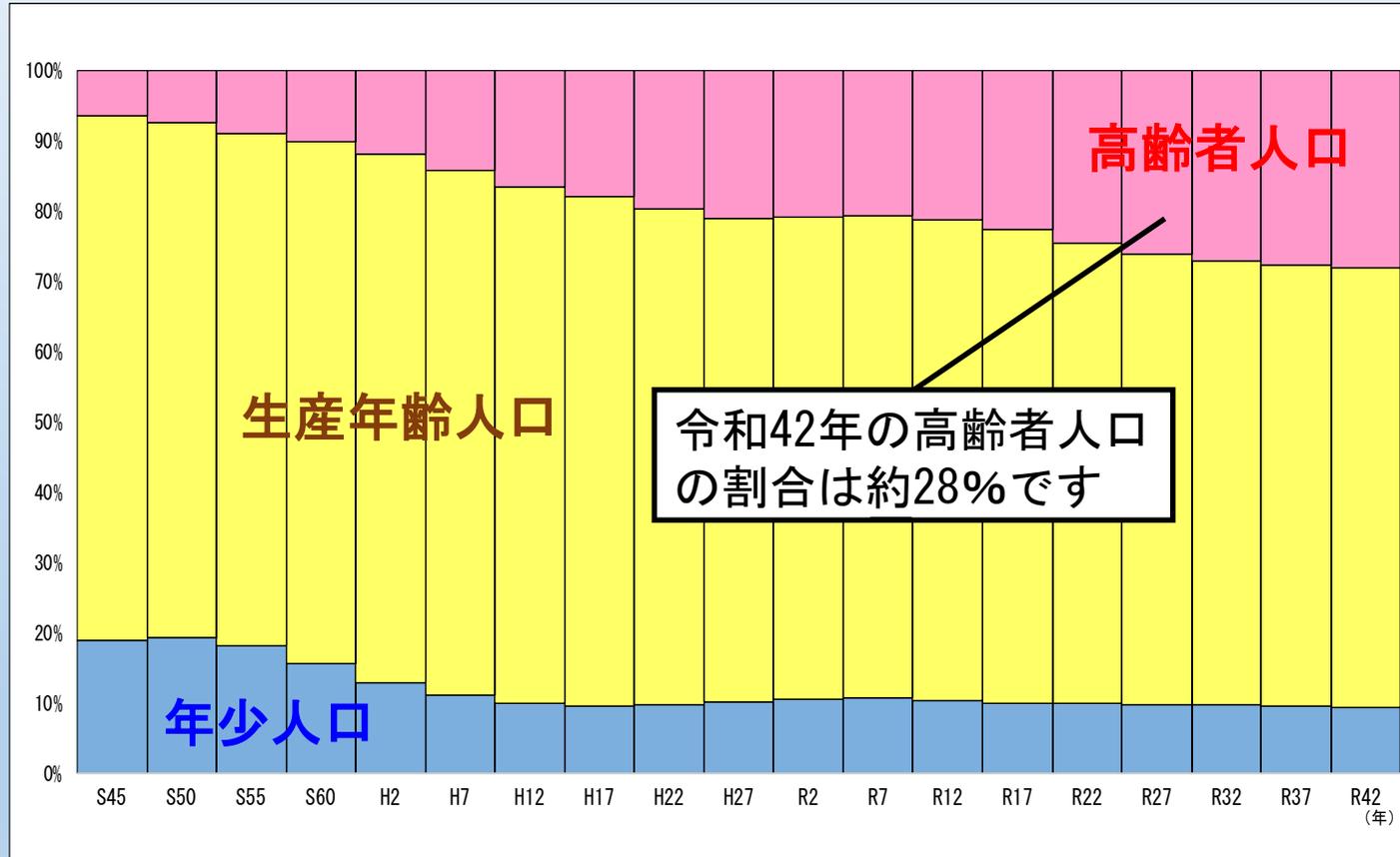
⇒保育園、学童クラブ、乳幼児親子の居場所、特別養護老人ホームなどは、しっかりと対応していく必要があります。



勉強できる場所があるといいな

## 区立施設の課題③ 厳しい財政状況

### ■年齢3区分別人口の構成割合（推計）

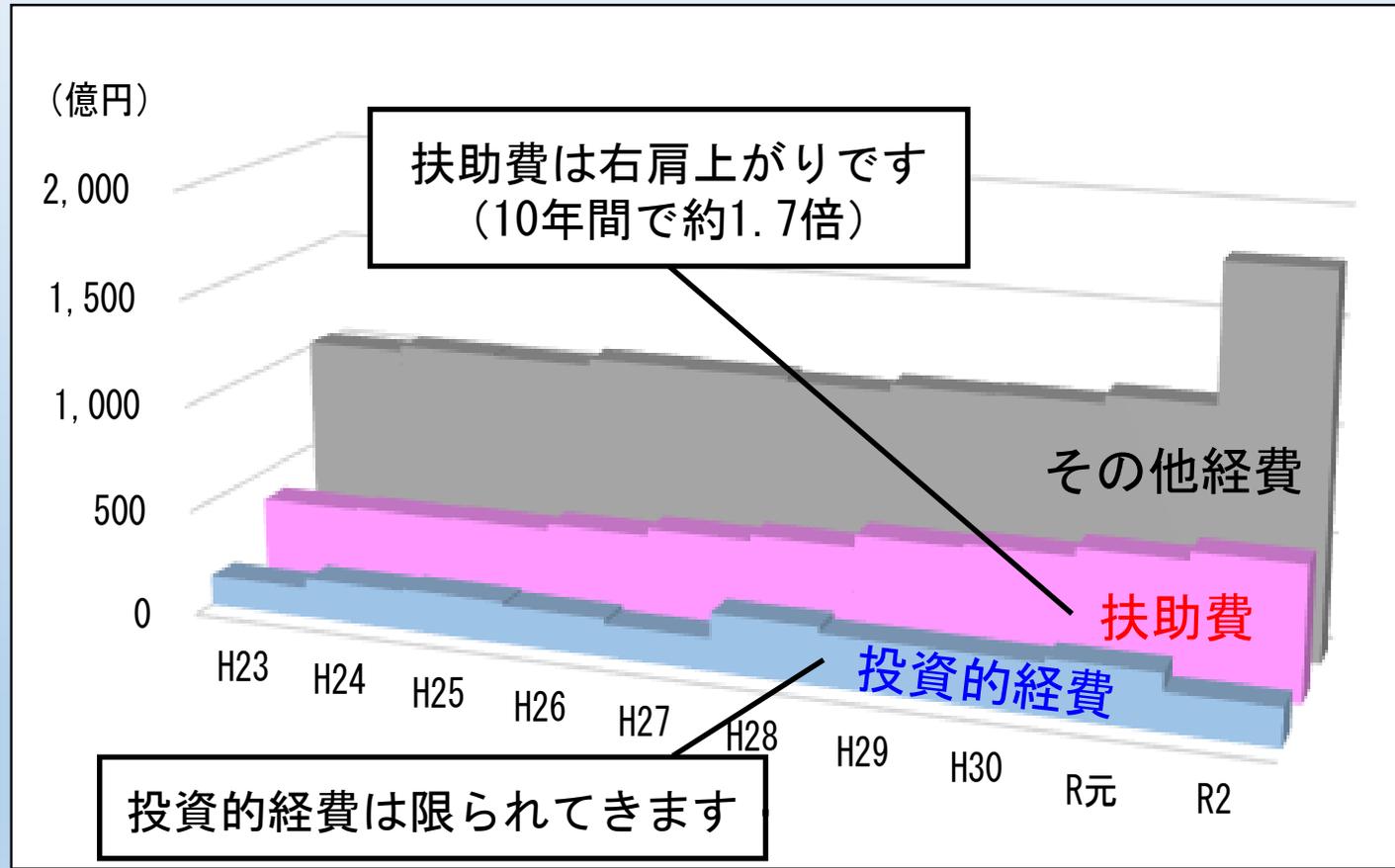


少子高齢化の進展に伴い、生産年齢人口の減少など、人口構造の変化は避けられないものと考えられます。

⇒生産年齢人口の減少などにより、税収が伸び続けることは期待できません。

## 区立施設の課題③ 厳しい財政状況

### ■歳出の状況 (H23~R2)

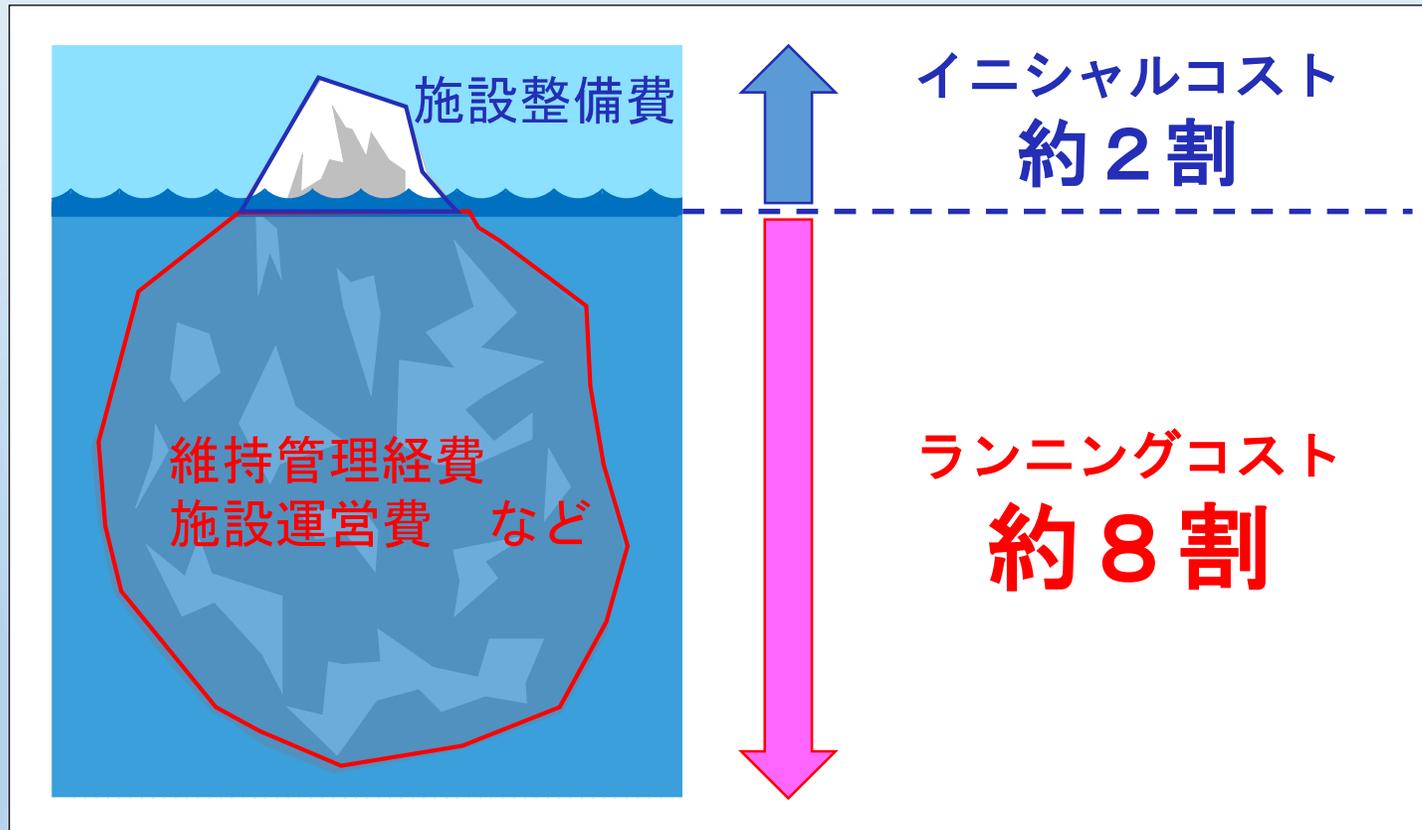


高齢化の一層の進展やコロナ禍における景気動向を踏まえると扶助費が今後も増加していくことが考えられます。

⇒区立施設の整備等に使用される投資的経費を拡大していくことは、困難な状況です。

## 区立施設の課題③ 厳しい財政状況

### ■ランニングコストも無視できません



1年当たりの施設整備費は約50億円ですが、維持管理経費等ランニングコストは、概ね300億円以上かかっています。

⇒施設があれば、その規模に応じてランニングコストもかかります。

## どうして再編整備を行うのか ～まとめ～

⇒人口減少や本格的な超高齢社会の到来による厳しい財政状況が見込まれる中で、老朽化した施設を適切に更新し、安全安心な施設サービスを提供するとともに、区民ニーズに的確に対応していくためには、何らかの「対策」が不可欠です。

# その「対策」こそが、施設再編の取組です！

- もし、「対策」を行わずに、現在の施設をそのまま維持していこうとすると、将来世代へ大きな負担を残すこととなります。

# コラム「これまでの取組」

※計画案5ページ~を参照してください。

## ①保育園、特別養護老人ホームなど 緊急性の高いニーズに対応

区立施設や国・東京都の公有財産等を活用した整備を促進

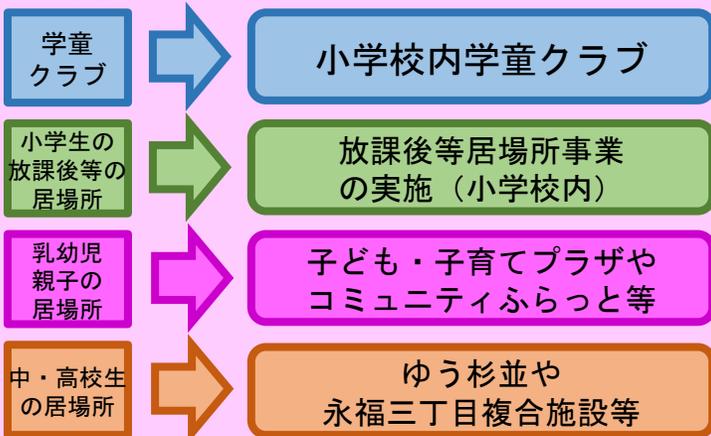
⇒保育園：平成30年度以降、4年連続で待機児童ゼロを実現

⇒特別養護老人ホーム：10年間で約1000人分の定員を確保

## ②児童館再編により子どもの居場所を拡充

学童クラブや乳幼児親子の利用が大幅に増加する中、より良い育成環境を確保するため、児童館を再編する取組を実施

⇒児童館再編のイメージ



にぎわう子ども・子育てプラザ天沼

## ③コミュニティふらっとの再編整備

⇒どんな施設？

乳幼児親子を含む子どもから高齢者まで、誰もが身近な地域で気軽に利用でき、世代を超えて交流・つながりが生まれる新たな地域コミュニティ施設

区民集会所、  
区民会館、  
ゆうゆう館、  
機能移転後の  
児童館を対象に・・・

ゆうゆう館などの  
機能を継承しつつ、  
多世代が共に  
利用できる  
施設として・・・

歩いて行くことが  
できるような  
身近な地域に、  
段階的に  
整備していきます。



コミュニティふらっとの基本的な考え方については、  
計画案142ページを参照してください。

## 2 どのように再編整備を進めていくのか

⇒施設設置基準の考え方や、施設の有効活用など、第1期計画の基本方針を継承しつつ、第2期計画では「7つの基本方針」を定めて、取組を進めます。

### ～第2期計画の「7つの基本方針」～

① 施設マネジメントの推進

⑤ 公民連携による民間活力の活用推進

② 施設の総量・トータルコストの適正化

⑥ 他の公共機関等との連携

③ 複合化・多機能化の推進

⑦ 財産の有効活用

④ 施設の長寿命化の推進

## 方針① 施設マネジメントの推進

- 自治体経営の視点から区の施設を経営資源と捉え、区立施設の更新、再編、長寿命化、利活用等多岐にわたる取組を総合的かつ計画的に行っていく施設マネジメントを推進

## 方針② 施設の総量・トータルコストの適正化

○老朽化や新たな行政需要など、施設ニーズにしっかりと対応した上で、施設規模の総量の適正化などによりランニングコストの縮減を促進し、トータルコストを適正化

## 方針③ 複合化・多機能化の推進

- 複合化・多機能化により、施設整備の効率化を図るとともに、施設の融合によるサービスの向上を実現
- 学校施設については、子どもたちに望ましい教育環境を確保した上で、周辺施設等との複合化を検討し、教育環境との相乗効果を創出しながら、地域に開かれた施設づくりを推進

## 方針④ 施設の長寿命化の推進

- 構造躯体が健全な建物は、より長く使うことで改築時期を分散し、財政負担を平準化
- 長寿命化の対象となる施設は、築40年を目安に長寿命化改修を実施し、築80年程度を目標に活用

## 方針⑤ 公民連携による民間活力の活用推進

- 民間事業者のアイデアを生かして、より良いサービスを提供するとともに、区の歳出を削減
- 「施設」から「サービス」への発想の転換を行い、民間事業者が提供するサービスの活用を検討

## 方針⑥ 他の公共機関等との連携

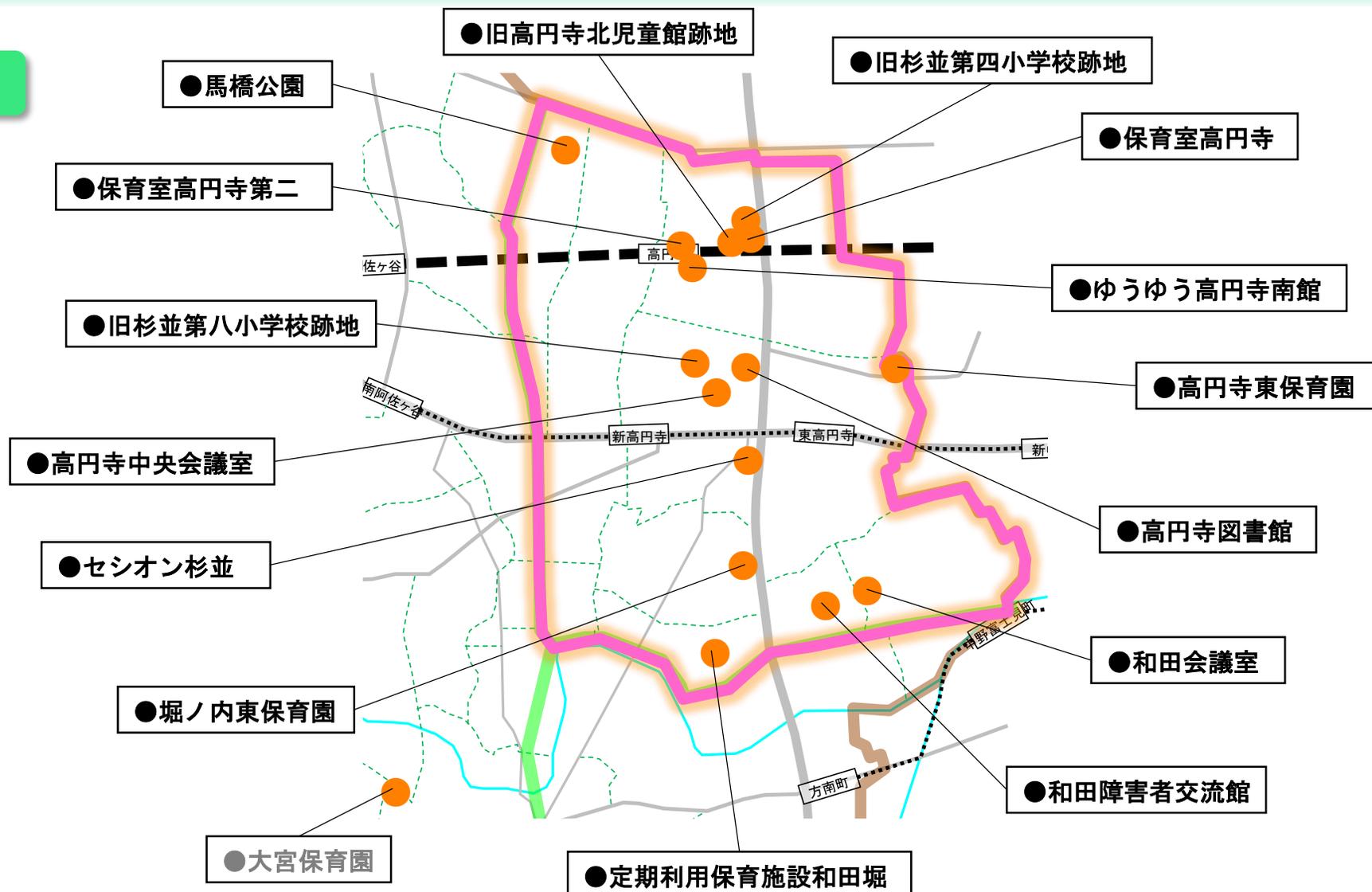
- 国・東京都との連携による国公有地の活用を検討
- 区内の公共公益施設の効率的な建て替えの推進のため、関係機関等と連携

## 方針⑦ 財産の有効活用

○施設等の有効活用や収益確保の観点等により、区立施設を経営資源として捉えた取組の推進

### 3 高円寺地域における、第1次実施プランの主な取組

#### 対象施設



次ページ以降では、主な取組を紹介します。

# 取組 1：旧杉並第四小学校跡地を活用した科学の拠点等の整備①

## (1) 場所



旧杉並第四小学校跡地（科学の拠点等整備予定地）

○高円寺北子供園を併設しています。

## (2) 取組の概要

- ⇒既存の校舎等を改修して、令和5年度中の開設に向け取組を進めます。整備に当たっては、科学の拠点及び地域の方々が多目的に利用することができる集会機能を備えるものとします。
- ⇒科学の拠点は、民間事業者が整備・運営し、集会機能は区が整備した上で、民間事業者が運営します。
- ⇒高円寺北子供園については、現在の北側建物から南側建物に移転し、3年保育に拡充します。
- ⇒科学の拠点等では、震災救援所機能を維持します。また、グラウンドについては、高円寺学園の部活動等を補完するための場としても活用します。

## (3) 計画案の記載箇所

- ⇒43、59、81ページ

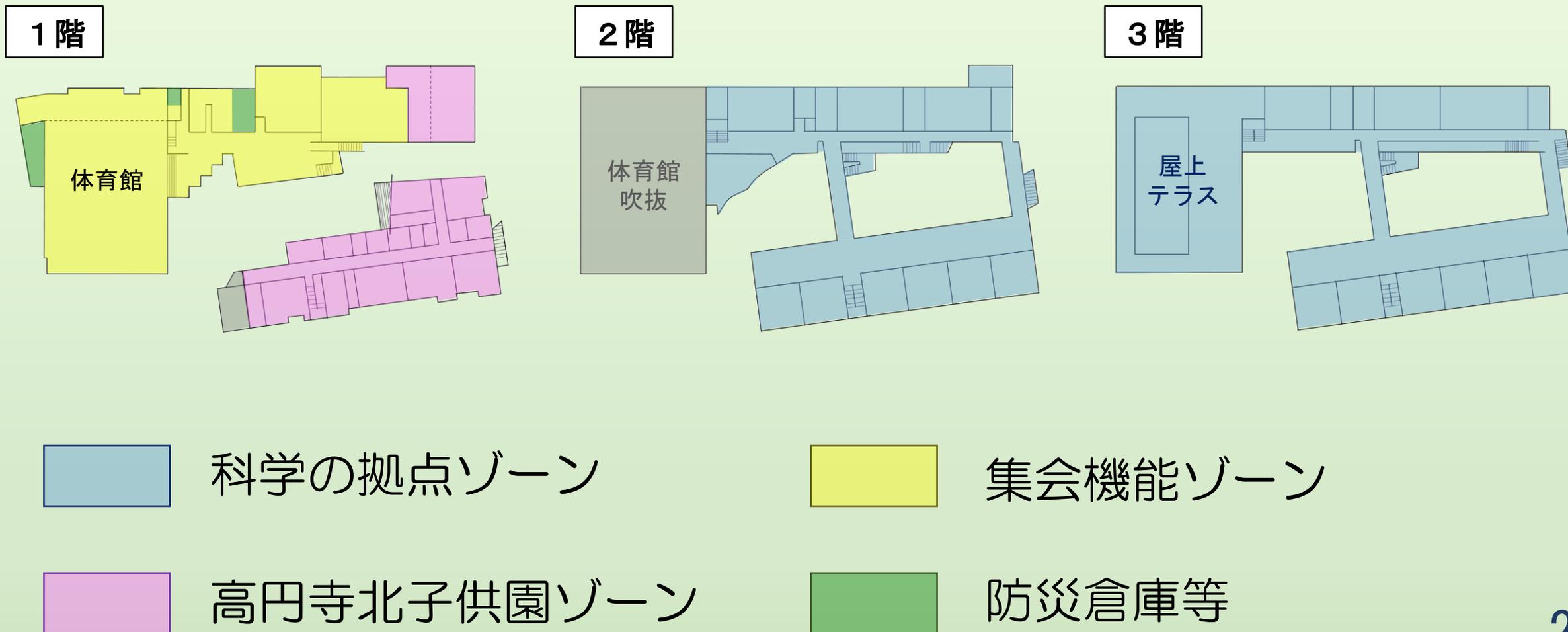
## 取組1：旧杉並第四小学校跡地を活用した科学の拠点等の整備②

### (4) 科学の拠点とは

- ⇒未就学児から高齢者までの様々な世代の区民が気軽に訪れることができ、何度でも来館したいと思う参加型・体験型の魅力ある科学のプログラムを企画し提供します。
- ⇒学習やものづくりのための場の整備や相談体制の充実を図ることなどにより、科学に対する主体的な学び（研究）や、能力・才能の伸長につながる継続的な学び（研究）の支援及び人材育成を行っていきます。
- ⇒科学に関する語り合いができるなど、気軽なコミュニケーションの場となります。
- ⇒科学教育団体、研究機関や企業等のネットワークを構築するとともに、科学教育団体等と連携し、身近な地域施設に出向いて科学の魅力を発信する「出前型・ネットワーク型」の科学教育事業の企画立案を行う拠点とします。

# 取組1：旧杉並第四小学校跡地を活用した科学の拠点等の整備③

## (5) 施設内の区分け (平面図)



# 取組2：旧杉並第八小学校跡地を活用した複合施設・公園整備①

## (1) 場所



## 取組2：旧杉並第八小学校跡地を活用した複合施設・公園整備②

### (2) 取組の概要

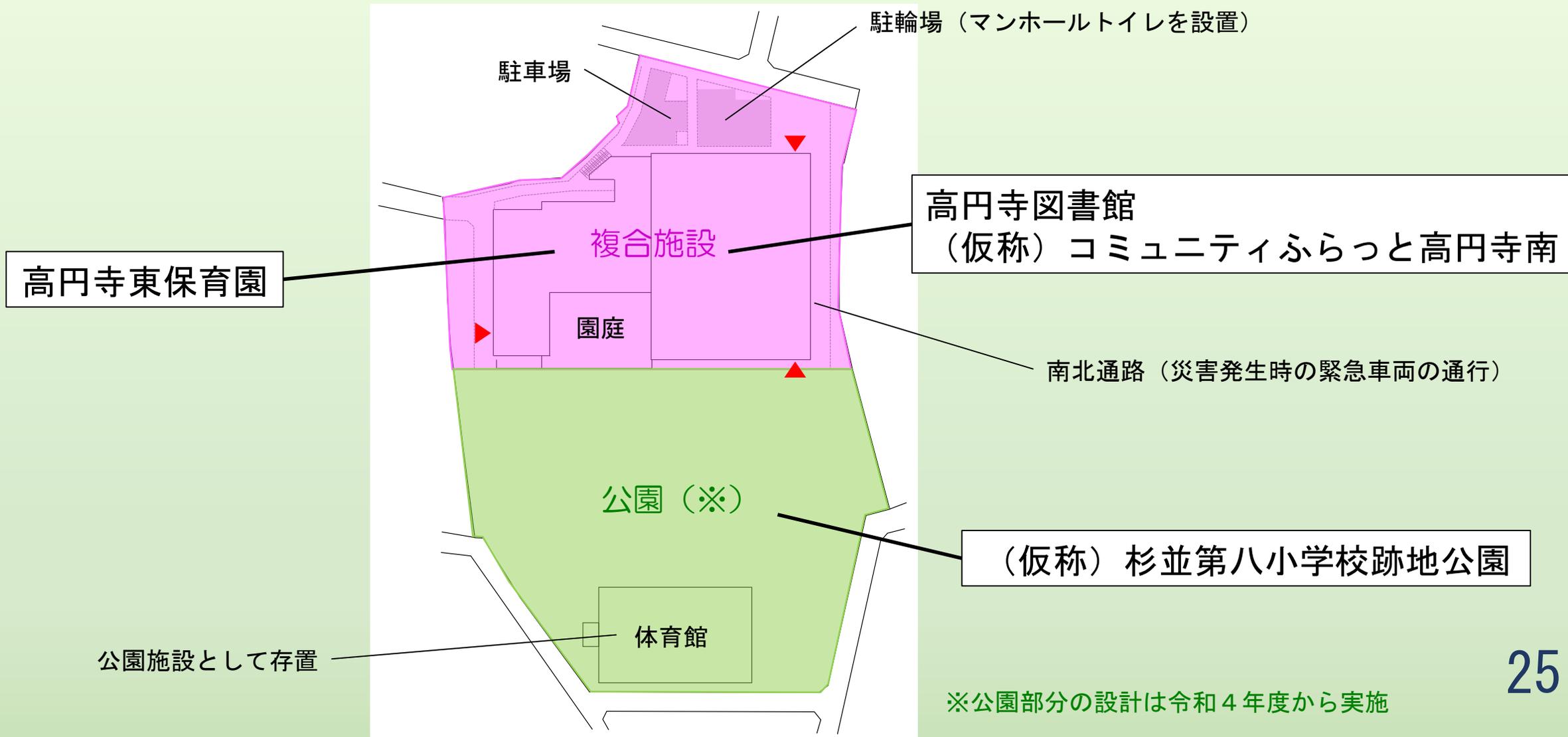
- ⇒既存の校舎等を解体して、令和6年度中の開設に向け、高円寺図書館、（仮称）コミュニティふらっと高円寺南、高円寺東保育園から成る、（仮称）高円寺図書館等複合施設を整備します（高円寺東保育園の移転は、令和7年度を予定）。
- ⇒（仮称）コミュニティふらっと高円寺南には、ゆうゆう高円寺南館を機能継承します。
- ⇒（仮称）コミュニティふらっと高円寺南で、町会や青少年育成委員会の活動場所を確保し、高円寺中央会議室は廃止します。
- ⇒令和7年度の開設に向けて、既存の校庭と同程度のオープンスペースを確保した（仮称）杉並第八小学校跡地公園を整備します。

### (3) 計画案の記載箇所

- ⇒44、57、64、72、78、102ページ

## 取組2：旧杉並第八小学校跡地を活用した複合施設・公園整備③

### (4) 施設の配置



## 取組2：旧杉並第八小学校跡地を活用した複合施設・公園整備④

### (5) 施設整備の考え方

- ⇒（仮称）コミュニティふらっと高円寺南には、東京高円寺阿波おどり等の地域のイベントに向けた活用のほか、防音などに十分に配慮した多目的室を整備します。
- ⇒高円寺図書館と（仮称）コミュニティふらっと高円寺南は、中・高校生の新たな居場所としても活用します。
- ⇒既存の体育館は、平常時には運動ができるスペース、また、災害発生時には避難スペースとしても活用できるよう、公園施設として存置します。
- ⇒複合施設・公園は、震災救援所機能を維持します。また、地域の防災倉庫や新たな災害備蓄倉庫の設置等、防災に配慮した施設としていきます。

# 取組3：セシオン杉並の長寿命化改修

## (1) 場所



セシオン杉並（長寿命化改修を実施）

○休館期間中、高円寺区民係は旧堀ノ内松ノ木会議室へ、高円寺地域活動係は和田会議室へ仮移転します。

## (2) 取組の概要

- ⇒セシオン杉並（高円寺地域区民センター、社会教育センター等）は、築30年以上が経過し、設備の老朽化が著しいことから、施設の長寿命化改修を実施します。
- ⇒改修に伴う休館期間は、令和5年4月までを予定しています。

## (3) 計画案の記載箇所

- ⇒62、81ページ

## 4 まとめ

### ■施設再編整備の取組を進めることによる将来像

施設再編整備の取組により、必要な施設サービスを将来にわたり提供し、次の世代に、より良いまちを引き継いでいきます。



ご清聴、ありがとうございました。

区立施設再編整備計画（第2期）  
第1次実施プラン（令和4～6年度）

～計画案について～